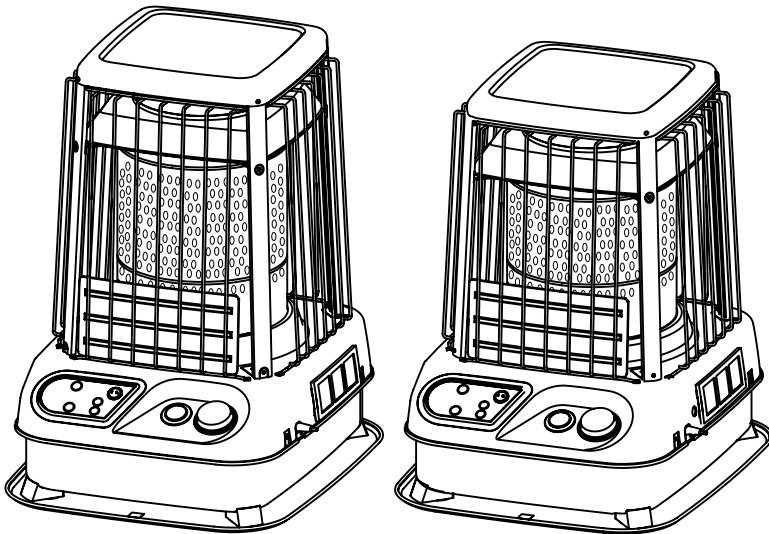


SUNPOT

サンポット石油暖房機 (強制通気形開放式石油ストーブ)

取扱説明書 (保証書付)

型名 **KLR-1930**
KLR-1230



KLR-1930

KLR-1230

- このたびはサンポット石油暖房機をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
- お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよく読んで、ストーブを正しくご使用ください。
なお、この取扱説明書は、保証書と共に必ず保存してください。
- 「取扱説明書」を紛失された場合はお買いあげの販売店にご相談ください。

- 取扱説明書の巻末には保証書が付いています。
保証書はよりよい製品作りやアフターサービスの向上に役立たせていただきますので、お手数ですが所定事項のご記入をご確認のうえ、必ず保証書 (販売店様控) をお買いあげの販売店にお渡しください。

もくじ

1	特に注意していただきたいこと	1~4
2	使用する場所	4
3	各部のなまえ	5~6
4	使用前の準備	7~9
	●開こんとストーブのセット	7
	●燃料	7
	●給油のしかた	8
	●水検知計の確認	8
	●点火前の準備と確認	9
5	使いかた	10~13
	●点火	10
	●炎の状態	10
	●火力調節・室温調節	11
	●タイマー運転	12
	●タイマーセットの解除	12
	●消火	13
6	安全装置	14
7	その他の装置	14
8	日常の点検・手入れ	15~16
9	定期点検	16
10	故障・異常の見分け方と処置方法	17~18
11	部品交換のしかた	18~19
12	保管	19
13	廃棄するとき	19
14	仕様	20~21
15	アフターサービス	22

保証書 (販売店様控)	21
保証書 (お客様控)	裏表紙

警告



換気必要
1時間に1~2回
寝るとき消火
スプレー缶厳禁

注意

変質した持ち越し灯油
使用厳禁

危険



ガソリン厳禁
使用燃料: 灯油
KEROSENE ONLY

1

特に注意していただきたいこと

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書には本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項が表示されています。表示内容をよくご理解いただき、本文をお読みください。

●ここに示した事項は⚠危険、⚠警告、⚠注意に区分しています。

●イラスト(まんが)の横にあるマークは次のように表しています。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。



マーク **禁止**



マーク **指示**



マーク **注意**

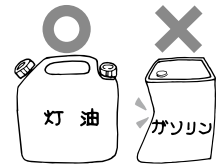
⚠危険 (DANGER)

ガソリン厳禁

●ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



ガソリン厳禁



⚠警告 (WARNING)

スプレー缶厳禁

●スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところやストーブの上や周囲に放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。



禁止

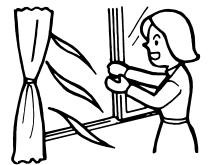


換気必要

- 換気せずに使用しつづけないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。また、乳幼児や呼吸器疾患などのかたは、体調不良になるおそれがあります。
- 使用中は必ず1時間に1～2回(1～2分)換気して、新鮮な空気を補給してください。
- 換気するときには、換気扇を使用したり、2ヶ所以上の開口部を設けると効率よく換気ができます。
- 換気が十分に行えない場所では、使用しないでください。



指示

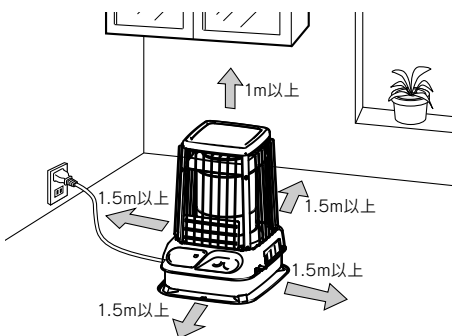


可燃物近接厳禁

●カーテン・布団や毛布など燃えやすいもののそばなどで使用しないでください。火災が発生するおそれがあります。可燃物とは図に示す距離を確保してください。



禁止

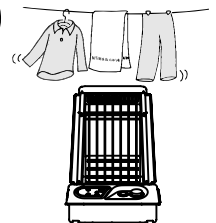


衣類の乾燥厳禁

●衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



禁止





警告 (WARNING)

温風吹出口をふさがない

- 衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。



禁止

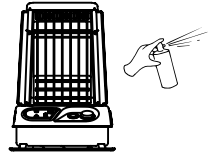


可燃性ガス使用厳禁

- ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー）、スプレーを使用しないでください。火災や故障の原因になります。



禁止



寝るとき消火

- 寝るときや外出するときは、必ず消火してください。予想しない事故が発生するおそれがあります。



指示



改造・分解禁止

- 故障、破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。



禁止



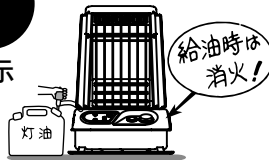
注意 (CAUTION)

給油時消火

- 火災のおそれがありますので、給油は、必ず消火し、火の気のないところで行ってください。



指示

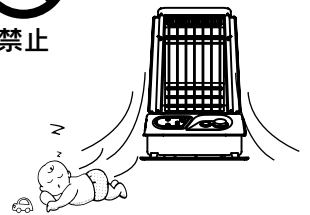


温風に直接あたらない

- 温風に直接長時間あたらないでください。低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。特に、体力のない病人、乳幼児、お年寄りには、まわりの人が注意してあげてください。



禁止



燃焼中移動禁止

- 火のついたまま持ち運ばないでください。やけどのおそれがあります。また、転倒すると火災になるおそれがあります。



禁止



高温部接触禁止

- 燃焼中や消火直後は、高温部、温風吹出口、ガードに手などふれないでください。やけどのおそれがあります。特にお子さまをストーブに近づけないでください。



注意



異常・故障時使用禁止

- 油漏れやにおい、すすの発生、炎の色など異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因になります。



禁止



指や異物を入れない

- 温風吹出口やガード内に指や異物を入れないでください。けがや火災のおそれがあります。



禁止



ほこりの除去

- 給気フィルタは、週1回以上必ず掃除してください。ごみ、ほこりなどでフィルタがつまると、異常燃焼のおそれがあります。



指示

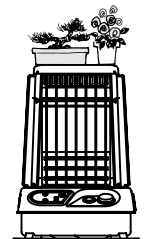


腰をかけたり物をのせない

- ストーブの上ののったり、腰をかけたらないでください。ストーブの故障や、やけどのおそれがあります。
- ストーブの上に花瓶や、水を入れたものなどを置かないでください。水がかかると漏電や、故障のおそれがあります。



禁止

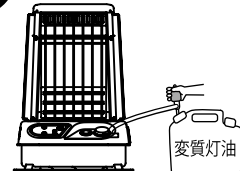


不良灯油使用禁止

- 変質灯油（持ち越した灯油など）、不純灯油（灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など）、不良灯油を使用しないでください。異常燃焼のおそれがあります。



禁止



⚠ 注意 (CAUTION)

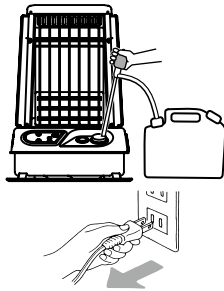
保管時にしていただくこと

- 長期間使用しないときはまたは保管するときは、電源プラグを抜き、必ず灯油を抜いてください。
- 傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。油漏れや火災のおそれがあります。



指示

保管時は電源プラグを抜いて灯油を抜く。

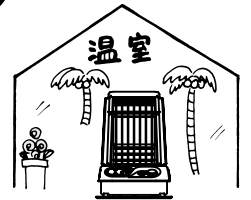


特殊な場所での使用禁止

- ストープは、乾燥室、温室、飼育室などでは絶対に使用しないでください。また、クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。



禁止

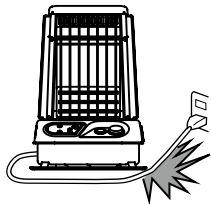


電源コードを傷めない

- 電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。



指示

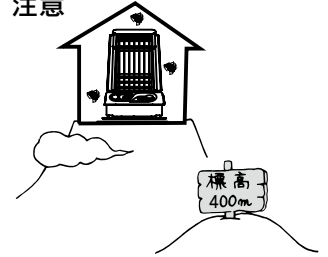


高地注意

- 標高 400m 未満でご使用ください。標高 400m ~ 2000m で使用する場合は、ストーブの調整が必要ですのでお買い求めの販売店にご相談ください。そのまま使用しますと、空気不足となり、不完全燃焼の原因になります。
- 標高 2000m を超えるような高地では使用できません。



注意

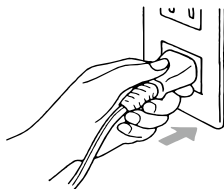


電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。(また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。) 火災の原因になります。
- めれた手で抜き差ししないでください。感電の原因になります。



指示



次の場所では使用しない

- 火災や予想しない事故の原因になります。
 - 水平でない場所、不安定な場所
 - 風のあたる場所、部屋の出入口、屋外
 - マントルピースなどストーブが囲われる場所
 - ほこりや湿気の多い場所
 - 不安定な物をのせた棚などの下
 - 可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 温室、飼育室など人のいない場所
 - 標高 2000m を超えるような高地
- 400 ~ 2000m で使用する場合に調整が必要です。調節は、お買いあげの販売店にご相談ください。
- 理・美容室、クリーニング店などスプレーや化学薬品を使う場所



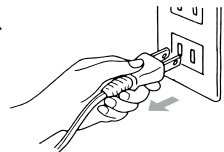
禁止

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。



電源プラグを抜く

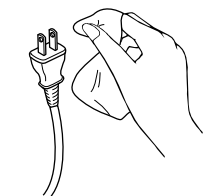


電源プラグのお手入れをする

- ときどきは電源プラグを抜き、ほこり(及び金属物)を除去してください。(ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり) 火災の原因になります。



指示



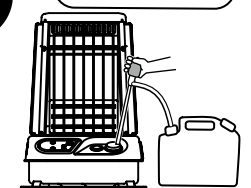
廃棄するとき

- ストープを廃棄処分するときは、必ず油タンク内の灯油を抜き取ってください。灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際思わぬ事故になるおそれがあります。



指示

廃棄するときは灯油を抜く。



運搬するときの注意

- ストープを運搬する場合は油タンク内の灯油を抜いてください。



指示

お願い (NOTICE)

シリコン配合製品を使用しない

- 石油ファンヒーターの故障の原因になることが注意表示されているヘアケア商品などは、シリコンが配合されています。ストーブと同時に使用しないでください。
- 上記の注意表示がなくてもシリコンが配合されている商品（化粧品類、衣類などの防水剤・柔軟剤など、家具などのつや出し剤・保護剤など）も同時使用は控えてください。
- やむなくご使用になる際はストーブの運転を一時的に停止し、使用後は換気を十分に行ってシリコンなどの成分を屋外に排出してから運転を再開してください。

灯油の廃棄

- 灯油の廃棄処分は、灯油をお買いあげの販売店にご相談ください。

結露に注意

- ストーブは室内で燃焼する製品のため、気密の高い部屋などでは、換気を十分にしてください。
- 換気をしないと、壁や天井が結露する場合や結露によってパソコンや電気機器などに障害が生じるおそれがあります。

2 使用する場所

効果的に使用するために

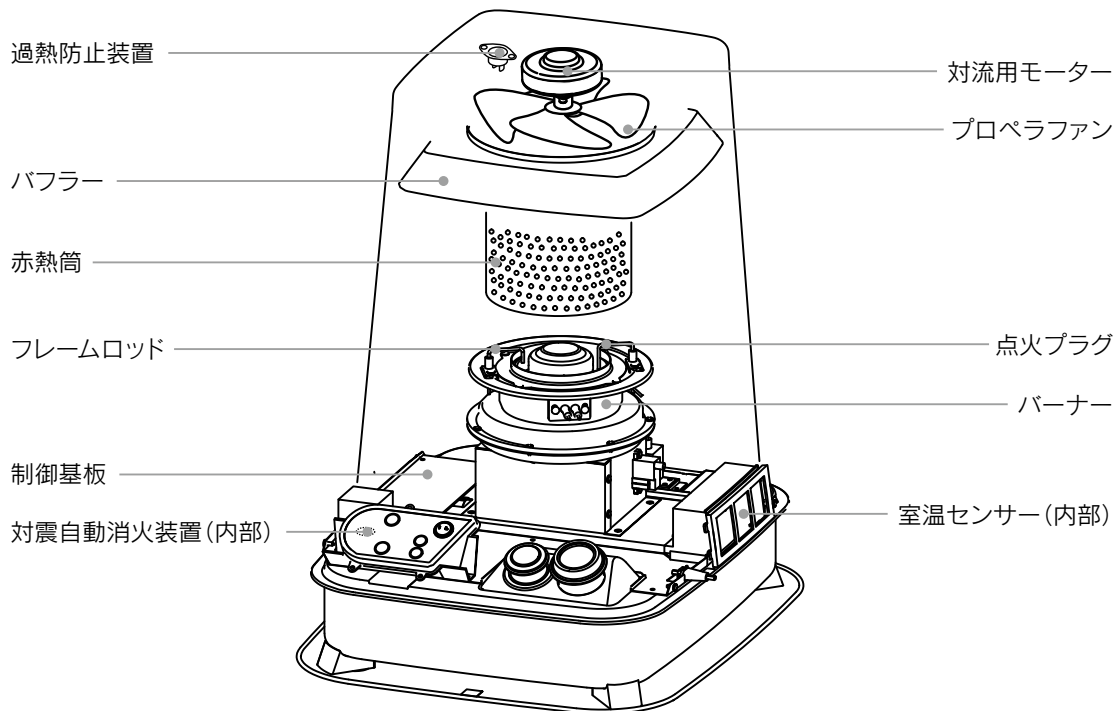
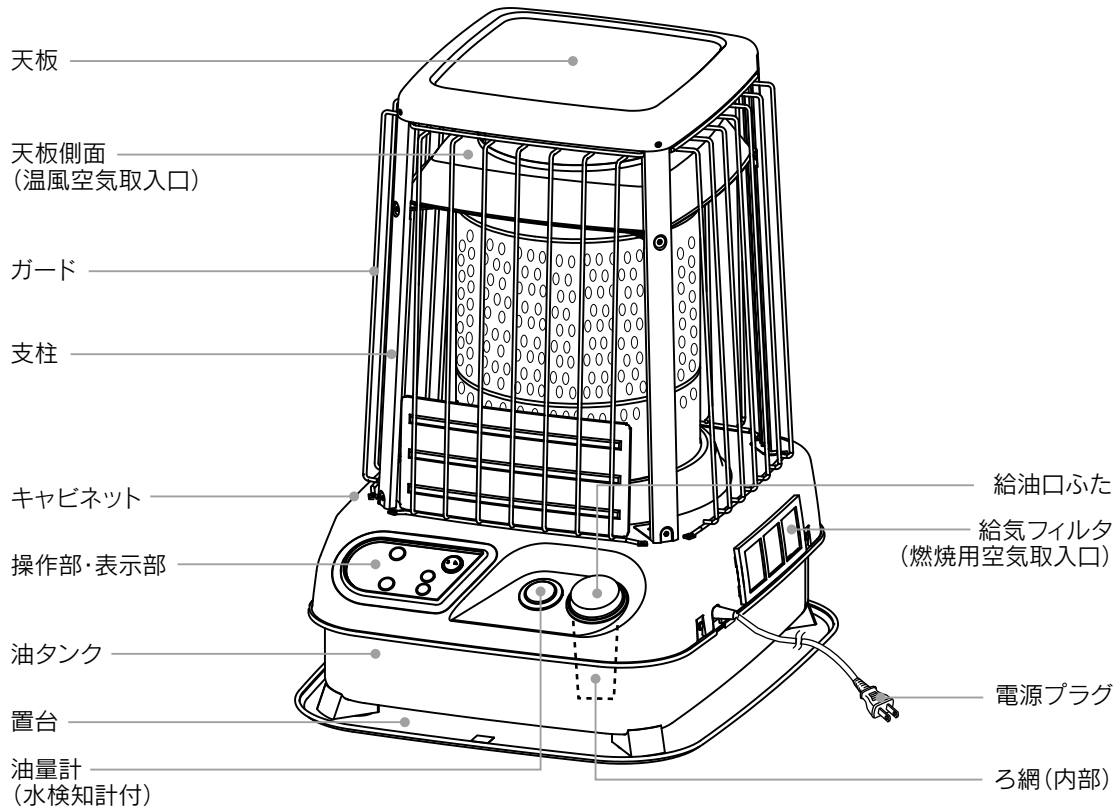
- 温風は4方向に吹き出しますので周囲に温風を阻止する障害物がないようにしてください。
- なるべく部屋の中央に置いてください。暖気の循環が行われて効果的です。

排気筒の取り付け

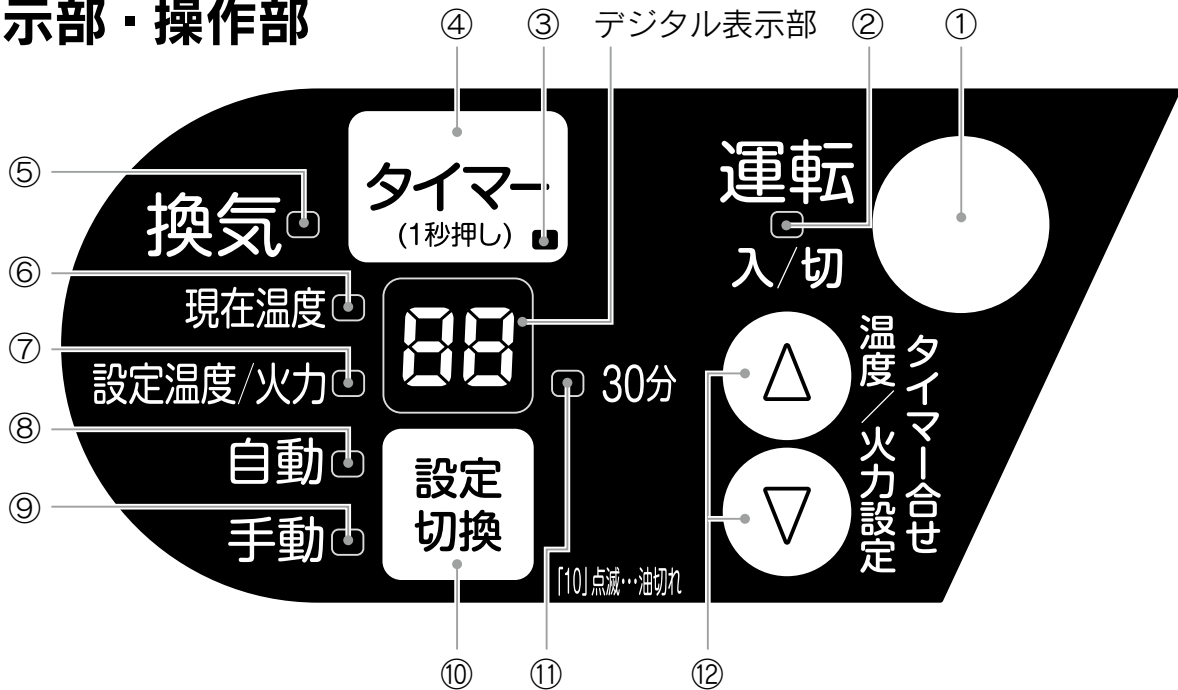
- 換気の悪い部屋では空気取入口を設け、煙突取付セット（別売部品）、煙突（別売部品）を取り付けてご使用ください。お客さまご自身による工事は危険です。据付け工事はお買いあげの販売店にご依頼ください。

3 各部のなまえ

■ 外観図



表示部・操作部



①運転スイッチ

運転・停止・リセットするときに押します。

リセット(警報解除)の方法

運転スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

②運転ランプ(オレンジ)

運転スイッチが「入」のときに点灯します。

③タイマーランプ(オレンジ)

タイマー待機中に点灯します。
タイマー運転中に点滅します。
タイマー運転開始から1時間後に自動消火したとき点灯します。

④タイマーボタン

タイマー運転をするときに1秒間長押しします。
タイマー運転中に押すと延長運転ができます。

⑤換気ランプ(オレンジ)

点滅…換気が必要です。

⑥現在温度ランプ(オレンジ)

点灯…デジタル表示部に現在室温を表示しています。

⑦設定温度/火力ランプ(オレンジ)

点灯…デジタル表示部に設定温度・設定火力を表示しています。点灯中は設定温度・設定火力の変更ができます。

⑧自動ランプ(オレンジ)

点灯…自動運転中です。

⑨手動ランプ(オレンジ)

点灯…手動運転中です。

⑩設定切換ボタン

手動運転と自動運転を切換えます。

⑪30分ランプ

点灯…タイマー設定時間(30分)を表します。

⑫温度/火力設定、タイマー合せボタン

	温度/火力設定	タイマー合せ
△ボタン	設定温度を上げる 火力を大きくする	設定時間を長くする
▽ボタン	設定温度を下げる 火力を小さくする	設定時間を短くする

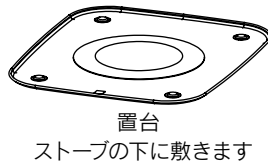
自動運転中に、現在温度ランプが点灯している場合は、△▽いずれかを押して設定温度/火力ランプを点灯させると、設定温度の調節ができるようになります。5秒間操作がないときは現在温度表示へ自動的に切り、現在温度ランプが点灯します。

ご注意 ● つめや金具片など、とがったもので操作ボタンを押さないでください。

4 使用前の準備

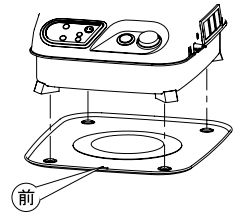
開こんとストーブのセット

- 包装箱からストーブを取り出しパッキン材やテープなどを取り除いてください。図のものが同梱されていますので確認してください。
- 箱、包装部材は収納時に必要ですので大切に保管してください。



置台の取り付け

- 置台の刻印「前」とストーブの前面を合わせ、ストーブの脚を置台の凸に入れてください。



燃料 ※燃料は必ず灯油（JIS1 号灯油）を使用してください。

ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
不良灯油（変質灯油、不純灯油）は絶対に使用しないでください。
灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光をさけた場所に保管してください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけ、息をふきかけます。
(火気のない所でおこなってください。)



正しい灯油の保管方法

火気、雨水、ごみ、高温、日光を避けた場所で、保管してください。翌シーズンに持ち越さないようにしてください。
紫外線を通しにくい色つきの灯油用ポリタンク（推奨マーク付）を使用してください。乳白色のポリタンク（水用）は使用しないでください。
ふたはしっかり閉めて保管してください。但し、灯油は紫外線だけでなく温度でも変質するので、推奨マーク付の灯油専用容器でも日なたには放置しないでください。
日なたに放置すれば変質灯油になってしまいます。



不良灯油（変質灯油・不純灯油）とは

変質灯油

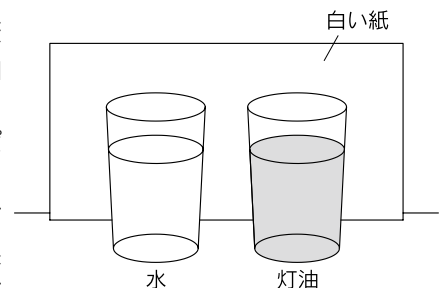
- 昨シーズンより持ち越した灯油
- 温度の高い場所で保管した灯油
- 日光の当たる場所で保管した灯油
- 乳白色のポリタンクで保管した灯油
- 容器のふたが開けてあった灯油

不純灯油

- 水やごみなどが混入した灯油
- ガソリン、軽油、シンナー、天ぷら油、機械油などが混入した灯油
- 灯油以外の油を入れたことのある容器に保管した灯油
- 水抜剤や助燃剤を添加した灯油

不良灯油（変質灯油・不純灯油）の見分け方

2つのコップを用意し、片方には水、もう片方には灯油を入れます。その2つのコップの背後に白紙をあてて色を比較し、灯油に色が付いていたら変質灯油の可能性あります。変質灯油になるとうす黄色を帯びた色になったり、すっぱいにおいがしたりします。水が混入した不純灯油の場合は、水が下にたまり灯油と水が分離した状態になります。保管の状態によっては、無色透明でも灯油が変質している場合があります。



変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると

- においが強くなる
- 黄色い炎が混じる
- 火力が上がらない
- 途中消火する
- 消火しにくい
- 着火しにくい

変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用したときは

灯油を抜き、きれいな灯油で油タンク内やフィルターを洗ってからご使用ください。作業を行っても効果のないときは、お買い求めの販売店までお問い合わせください。

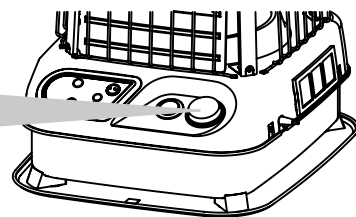
不良灯油（変質灯油・不純灯油）が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

給油のしかた

給油は必ずストーブが消火していることを確認して、本体温度が充分下がってから、他に火の気のないところで行ってください。火災のおそれがあります。

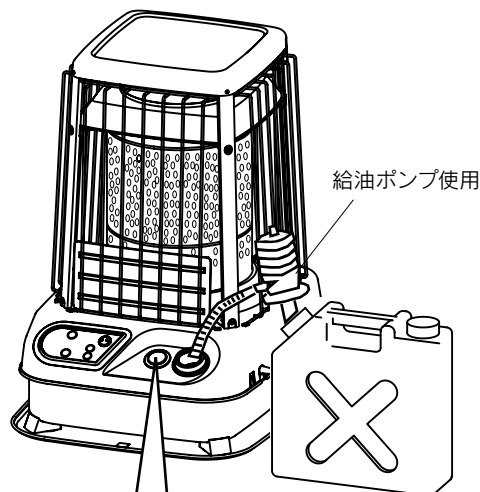
1 給油口のふたを開ける

左にまわして
はずす



2 油量計を見ながら給油する

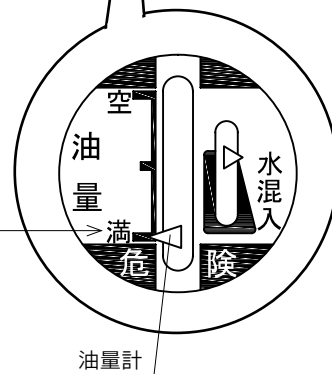
- 市販の給油ポンプの先端が止まるまで軽く差し込んで、油量計を見ながら給油してください。
(ホースが抜けないように注意しながら給油してください)
- 給油の際は、ろ網をはずさないでください。
- 給油の際に、水・ごみなどが入らないように特に注意してください。水・ごみなどは燃焼不良や、電磁ポンプの寿命低下などの原因になります。
- 油量計の表示が「満」の位置まで給油してください。
「満」以上の給油は、灯油があふれ出る可能性があり危険ですから絶対に入れないでください。



3 給油口ふたを確実に閉める

4 こぼれた灯油はよくふきとる

「満」以上給油しない



水検知計の確認

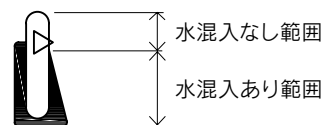
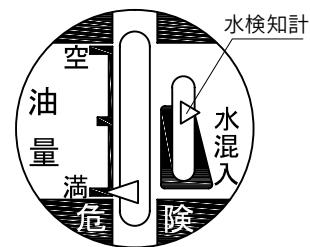
水の混入した灯油に注意してください。

水の混入した灯油を使用すると、油タンク内底部に水がたまり、油タンクが錆びたり、電磁ポンプが水を吸い込むと異常燃焼や電磁ポンプの寿命低下の原因になります。

油タンク内へ水が混入した場合は、水検知計が「水混入」を示します。

すみやかに油タンク底の水を、市販の給油ポンプで完全に抜き取ってください。

(「日常の点検・手入れ」の油タンク内の水抜き の項 (15 ページ) を参照)



4 使用前の準備 つづき

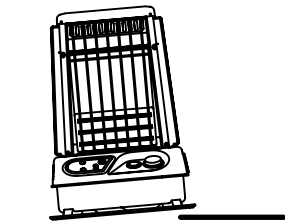
■ 点火前の準備と確認

1 水平な場所に設置する

- ストープは振動のない、水平でしっかりした床面に設置してください。ストープが傾いていないか、不安定な状態になっていないか、必ず確かめてください。ストープが傾いた状態で使用しますと、対震自動消火装置が誤作動することがあります。また、転倒しやすく、異常燃焼の原因になります。



禁止



2 油漏れがないか確認する

- 油タンクの周囲に油漏れがないか、置台に油のたまりやにじみがないか確認してください。万一、油漏れしている場合は、油タンクから灯油を抜き、必ずお買いあげの販売店又は最寄りのサンポット支店・営業所へご連絡ください。



禁止

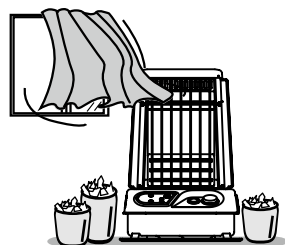


3 ストープ周囲に障害物や可燃物がないか確認する

- ストープの周囲に引火物や可燃物がないか確認してください。火災や予想しない事故が発生するおそれがあります。

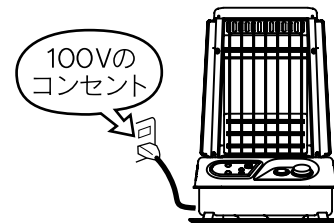


禁止



4 電源プラグをコンセントに(100V)に確実に差し込む

- 電源は必ず適正配線された単層 100V のコンセントを使用してください。電源コードは、途中で接続したり、他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。電源プラグの抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。ほこりなどの付着がないか、ときどき点検・掃除をしてください。



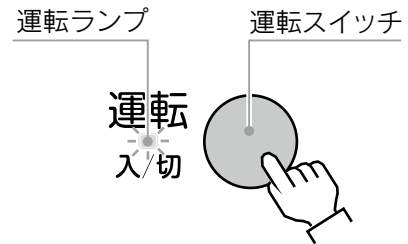
- 工場など強力なノイズが発生する機械があるところでは、ノイズによりストーブが消火したり、故障の原因になりますので使用しないでください。
- ストープの近くでラジオなどを使用しないでください。ラジオに雑音が入るおそれがあります。

5 使いかた

■ 点火【通常運転】

1 「運転スイッチ」を押して「入」にする

- 運転ランプが点灯します。
- デジタル表示部は現在の設定火力、または室温を表示します。



2 約 100 秒後に自動的に点火します

- 初めて運転するときや、油タンクを空にし給油後初めて運転するとき、送油経路内に空気が入って点火できないことがあります。このとき、デジタル表示部に「03」または「33」を点滅表示して停止します。(運転開始約 100 秒後) この場合は「運転スイッチ」を「切」にし、もう一度点火操作をしてください。通常 2～3 回の点火操作で送油経路内の空気が抜けて点火します。
- 初めてお使いになるときは、防錆油や耐熱塗料が焼け、煙やにおいが出ることがあります。窓を開けて部屋の換気をしてください。
- ストープ内部にごみが吸い込まれると炎の色が全体的に赤又はピンク色になります。このようなときはストーブの周囲を掃除してください。
- 着火後 7～8 分間は黄色い炎が出る場合がありますが異常ではありません。
- 着火時、放電音と同時に着火音を発しますが異常ではありません。
- 標高 400～2000m の高地で使用するにはストーブの調整が必要です。調整を行わず使用した場合、赤火燃焼する場合があります。ストーブの調整は、お買いあげの販売店にご相談ください。
- 標高 2000m を超えるような高地では使用できません。
- 運転中「カチカチ」音がすることがありますが、電磁ポンプの運転音であり異常ではありません。
- 点火時には少しにおいがありますが、異常ではありません。
- 運転中に換気ランプが点滅した場合はすみやかに部屋の換気をしてください。
- 屋内でヘアスプレーやフロンガス、トリクレンなどを使用している所、及び刺激臭の強いガスなどが発生している所では金属や本体が錆びたり、点火ミスや途中消火の原因となりますので使用しないでください。
- 雷が接近した時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。激しい雷雨の影響でストーブが故障するおそれがあります。
- ストーブの周辺はふく射熱が強いので熱に弱いものを置いたりしないでください。変色や変形することがあります。

■ 炎の状態

	○ 正しい炎	× 赤火燃焼	× リフト燃焼
炎の図			
状態	<ul style="list-style-type: none"> ● 炎は完全な青火燃焼で ● 黄色い炎は混じらない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 黄色い炎が混じっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 炎の一部が切れている ● においがする
原因		<ul style="list-style-type: none"> ● 換気不足 ● 給気フィルタのごみづまり ● 不良灯油を使用した 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電磁ポンプなど送油経路の詰まり
処置		<ul style="list-style-type: none"> ● 換気をする (1 時間に 1～2 回) ● 給気フィルタの掃除 (16 ページ参照) ● 良質の灯油と入れ替える (15 ページ参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ● お買いあげの販売店にご相談ください

処置後も赤火燃焼・リフト燃焼するときは、お買いあげの販売店にご相談ください。

5 使いかた つづき

火力調節・室温調節

- 運転中に「設定切換ボタン」を押すことによって、手動運転と自動運転を選択できます。

手動運転

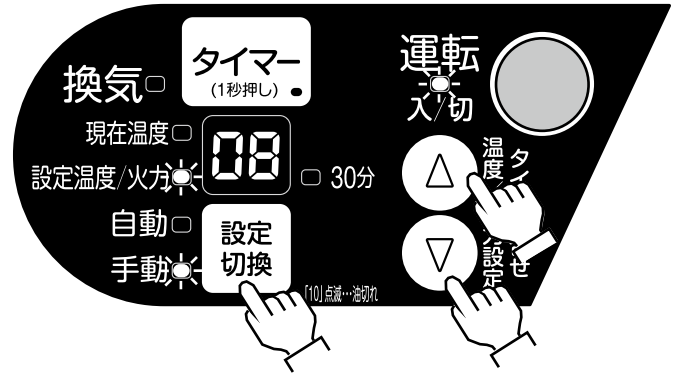
セットした火力で運転を続けます。室温による調節はしません。

1 設定切換ボタンを押して、手動ランプを点灯させる

- 手動運転中に火力設定を変えたい場合は、設定切換ボタンを押す必要がありません。

2 温度／火力設定ボタンの『▲』『▼』を押して、お好みの火力を設定する

- 火力は 1 (小火力) ~ 最大 8 (大火力) までの範囲で調節が可能です。



自動運転

設定温度と現在温度に応じて自動的に火力を変えて運転します。

1 設定切換ボタンを押して、自動ランプを点灯させる

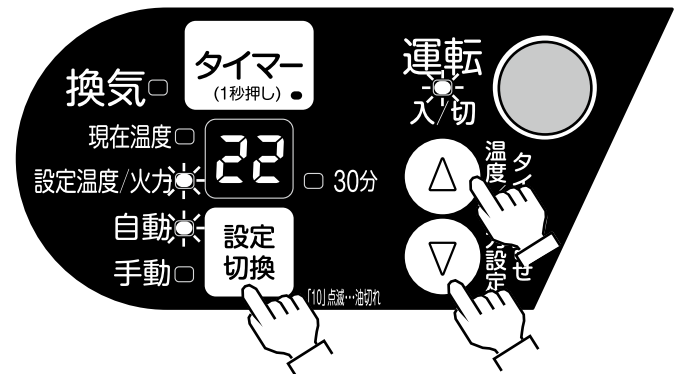
- 自動運転中に温度設定を変えたい場合は、設定切換ボタンを押す必要がありません。

2 温度／火力設定ボタンの『▲』『▼』のいずれかを押す。

- 現在温度表示から設定温度表示に切り替ります。

3 温度／火力設定ボタンの『▲』『▼』いずれかを押してお好みの温度に設定する。

- 設定が終わってから約5秒後に現在温度表示に切り替ります。



- 火力と室温の設定は運転中にしかできません。
- 設定火力と設定温度は一度セットすれば記憶されますが、停電の場合には解除され自動的に初期設定にセットされます。(設定火力「8」、設定温度「22」℃)
- 運転中に設定温度を見たいときは温度 / 火力設定ボタンの「▲」「▼」を押すとデジタル表示部に設定温度を5秒間表示します。
- 温度設定しない場合や、停電や電源プラグを抜いたりした場合は、22℃が設定温度となります。
- 自動運転は、ストーブ周囲の温度を感知して行いますので、ストーブの位置や部屋の大きさにより必ずしもデジタル表示部の室内温度表示と、部屋の温度計とは一致しないことがあります。
- 室温の設定温度範囲は「12 ~ 32℃」です。現在温度の表示範囲は「5 ~ 35℃」です。
- 現在温度表示は、5℃未満のときは「Lo」 36℃以上のときは「Hi」の文字表示になります。
- 現在温度が設定温度に近づくと火力は小さくなりますが、設定温度を超えても消火しません。

■タイマー運転

- 寒い朝など前もってお好みの時刻に運転を開始します。

- このタイマーは、点火したい時刻と、タイマー点火操作するときの現在時刻との時間差をタイマーセットするものです。
- たとえば、現在の時刻が午後5時、タイマー点火したい時刻が翌日の午前8時であれば、時間差は15時間ですので、「15」にセットします。
- このタイマーは最長24時間、最短30分単位でセットできます。

1 運転スイッチを押して、「入」にする

- 運転ランプが点灯します。
- 燃焼中にセットする場合、運転スイッチを入にする必要はありません。

2 「タイマーボタン」を約1秒間押す

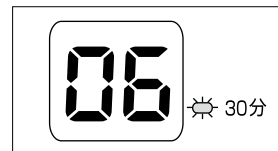
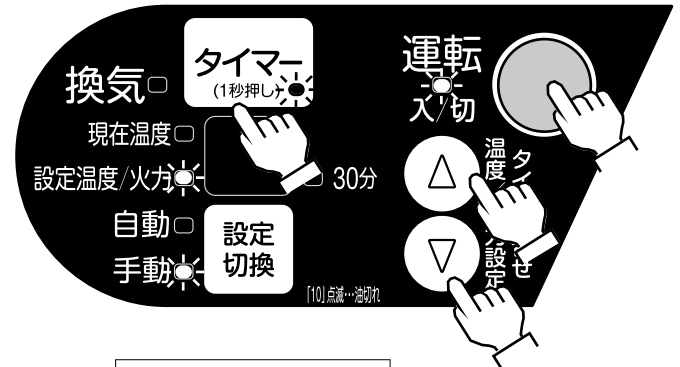
- タイマーランプが点灯します。
- ストーブが燃焼中の場合は自動的に消火し、ストーブが冷えると停止します。

3 タイマー合せボタン『▲』『▼』を押して希望の時間を合わせる

- 最短30分から最長24時間まで30分刻みに設定可能です。

4 設定時間が経過すると自動的に点火する

- タイマー点火しますと、約1時間後に自動的に消火し、デジタル表示部に「1h」を点滅表示させます。（これは閉め切った部屋で長時間、換気せずに燃焼すると空気不足で危険となるためです）
- 連続で使用するときは、「タイマーボタン」を押してください。タイマーランプが消灯します。
- タイマー待機中に停電があったとき、対震自動消火装置が作動したときは点火しません。
- タイマー点火時刻が狂ったりする場合は、電源プラグをコンセントから一度抜いて、もう一度差し込みなおしてください。
- 初めてタイマーを運転する場合は、自動的に15時間にセットされています。
- 2回目以降は前回の設定を記憶していますが、停電などで電源が遮断された場合は15時間に再セットされます。

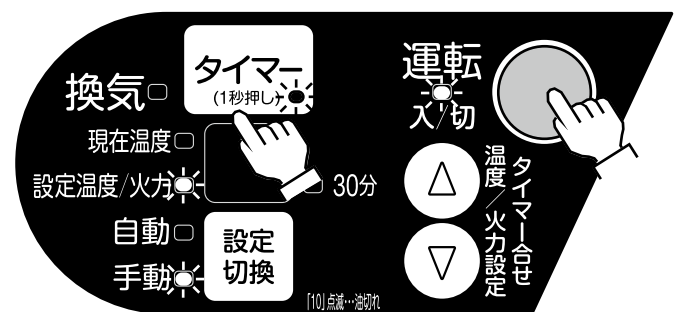


(例) 現在の時刻：午後11時30分
点火したい時刻：午前6時
運転開始までの時間→6時間30分

■タイマーセットの解除

1 運転スイッチを押して、「切」にする

- タイマー点火時刻前に点火（通常運転）する場合は、再度タイマーボタンを押してタイマーセットを解除します。



ご注意

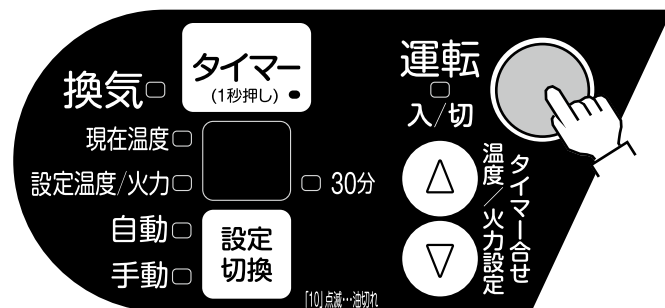
- タイマー点火をする場合は、周囲に可燃物があつたり、その他危険な状態のないことを確認してください。
- おでかけのときはタイマー点火をしないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。

5 使いかた つづき

消火

1 運転スイッチを押して、「切」にする

- 運転ランプの消灯と同時にすべてのランプが消灯し、デジタル表示部の表示が消えます。
- 運転スイッチを「切」にして約 6 秒後、消火します。
- 送風機はいったん回転が落ちた後再び運転します。



2 消火を確認する

- ストーブが冷えると送風機が停止します。

ご注意

- 消火時には多少においが出ますが、異常ではありません。
- 長期間留守にするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは送風機が停止してから抜いてください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。電装部が過熱し、故障の原因になります。
- 外出するときは、必ず消火して、運転ランプが消えたことを確認してからお出かけください。

6

安全装置

安全装置が作動すると、デジタル表示部に故障・異常の原因が表示されます。

そうした場合は、運転スイッチを「切」にし、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。

繰り返し表示するときや運転しないときは、お買いあげの販売店又は最寄りのサンポット支店・営業所へご連絡ください。

安全装置の名前 ● 作動の原因	デジタル表示	処置の方法
停電安全装置 ● 停電した。 ● 電源プラグが抜けた。	00 (点滅)	通電後、ストーブが冷えてから再点火操作をしてください。
対震自動消火装置 ● 地震(震度5以上)があった。 ● 本体を傾けたり強い振動衝撃があった。	02 (点滅)	ストーブの周囲やストーブの外れやゆるみ、油漏れなど異常がないことを確認し再点火操作をしてください。
点火安全装置 ● 点火不良。	03 (点滅) 33 (点滅)	油タンク内のごみや水混入などの原因を取り除いてから再点火操作をしてください。
燃焼制御装置 ● 燃焼中に消火した。 ● 炎が小さくなった。	05 (点滅)	
過熱防止装置 ● 対流用送風機が故障した。 ● 対流用送風機の周囲にほこりがたまり高温になった。	07 (点滅)	ストーブの周囲を1.5m以上あけてください。対流用送風機の周囲と天板側面の掃除や障害物を除去してください。ストーブが冷えてから再点火操作をしてください。
不完全燃焼防止装置 ● 換気不良や手入れ不足、その他の異常によりバーナー部へ空気の供給が不足した。 ※不完全燃焼防止装置が作動する前に換気ランプが点滅して作動を予告します。換気ランプが点滅したら早めに換気してください。	※ 35 (点滅)	部屋の換気をしてください。ストーブが冷えてから給気フィルターの掃除をして再点火してください。不完全燃焼防止装置は、あくまでも不完全燃焼による危険を防止するものであり使用中は必ず1時間に1~2回換気して新鮮な空気を補給してください。

7

その他の装置

その他装置が作動すると、デジタル表示部に故障・異常の原因が表示されます。

そうした場合は、運転スイッチを「切」にし、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。

繰り返し表示するときや運転しないときは、お買いあげの販売店又は最寄りのサンポット支店・営業所へご連絡ください。

安全装置の名前 ● 作動の原因	デジタル表示	処置の方法
油切れ検知装置 ● 燃料がなくなった。	10 (点滅)	ストーブが冷えてから給油してください。
逆火検出装置 ● バーナーが異常に過熱した。	25 (点滅)	ストーブが冷えるのを待ってから再点火をしてください。

チェックモードに下記のような表示が出たときは、お買いあげの販売店又は最寄りのサンポット支店・営業所へご連絡ください。

11 (点滅) 12 (点滅) 13 (点滅) 14 (点滅) 15 (点滅) 18 (点滅) 32 (点滅)

8

日常の点検・手入れ

お守りください

- 点検・手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また、分解はしないでください。

ご使用のたびに

■本体の周辺に可燃物はないか

- ストーブの周囲には、燃えやすいものを置かないでください。

■油漏れ・油のたまり・油のにじみはないか

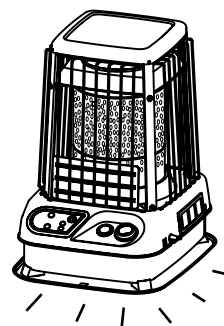
- 異常があるときは使用を中止し、お買いあげの販売店にご相談ください。

■本体のほこりや汚れをふき取る

- ほこりや汚れをそのままにしておきますと、油がしみたりして危険です。
- ストーブはいつも清潔にしてお使いください。
- 柔らかい布でからぶきするか、水で薄めた中性洗剤をしみこませた布でふいてください。
- ベンジン、シンナーは使用しないでください。

■電源プラグの点検

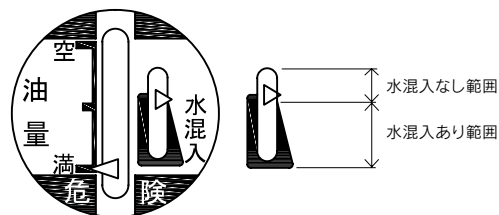
- 電源プラグ、コンセントにほこりやよごれがたまると火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜いて、付着したほこりや汚れを取り除いてください。



給油のたびに

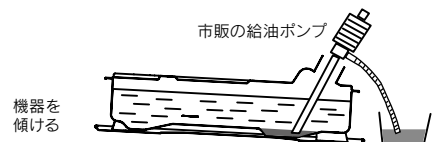
■水検知計を点検する

- 油タンクに水がたまると、水検知計が水の混入を表示します。



■油タンクの水抜き

- 水が混入している場合、機器の油タンクの給油口から市販のスポイトや給油ポンプで本体を給油口側に少し傾斜させて、油タンクの底にたまった水を抜き取ってください。



■ろ網の点検

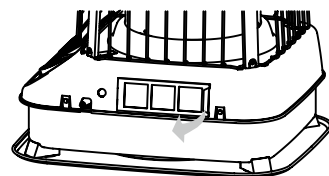
- 給油前にろ網を点検します。汚れていたら灯油で洗ってください。
- 水洗いは絶対にしないでください。



週に1回以上は

給気フィルタのほこりをとる

- 給気フィルタのほこりは掃除機などで吸い取ってください。
- 給気フィルタは掃除したあと必ず取り付けてください。



手前に引く

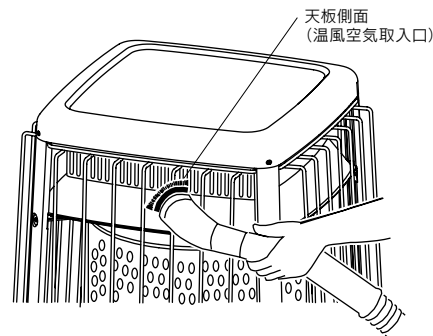
1ヶ月に1回以上は

対震自動消火装置の点検

- 燃焼中に本体をゆすり、消火することを確認してください。
- 確認するとき、高温部に手などをふれないよう注意してください。
- 消火しないときは修理が必要ですので、お買いあげの販売店又は最寄りのサンポット支店・営業所にご相談ください。

天板側面のほこりをとる

- 天板側面のほこりは、掃除機などで吸い取ってください。



9 定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、2シーズンに1回程度、シーズン終了後などに、お買いあげの販売店または修理資格者〔(一財) 日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928) で行う技術管理講習会修了者(石油技術管理士) など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

愛情点検

●長年ご使用の石油暖房機の点検をぜひ!



ご使用の際、
こんな症状は
ありませんか?

- 油漏れがある。
- 排ガスのおいがしたり、目がチカチカする。
- 運転中異常な音がある。
- 黒煙を出して燃える。
- その他の異常や故障がある。



ご使用
中 止

このような場合、事故防止のため使用せずスイッチを切りコンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い求めの販売店または石油機器技術管理士などに点検修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対なさらなさないでください。

10 故障・異常の見分け方と処置方法

■修理を依頼される前に

次の症状は異常ではありません。修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

着 火 時	
症 状	原 因 と 処 置
すぐ着火しない	予熱時間が約 100 秒必要です。 給油直後は灯油が送油経路に回るまで時間がかかります。 2～3 回点火操作を繰り返してください。
初めて使用するときや灯油がなくなり 再び着火するとき白煙が出る	灯油が送油経路に十分に回りきらないと、このような症状が出る場合がありますが異常ではありません。 2～3 回点火操作を繰り返してください。

燃 焼 時 ・ 消 火 時	
症 状	原 因 と 処 置
初めて使用するとき赤い炎や煙、 においが出る	防錆油や耐熱塗料が焼けるためです。煙やにおいは3～4時間でおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。赤い炎は、しばらくの間燃焼を続けているとおさまります。
炎の色がときどき ちらちらと赤くなる	空気中のほこりが燃えるためです。 ストーブの周囲を掃除してください。
設定温度を高めにしても 現在温度が上がらない	部屋が広すぎるときに起こります。
現在温度が設定温度より 高くなる	狭い部屋や断熱のよい部屋で使用したり、秋口・春先など外気温が比較的高いときに現在温度が上がりすぎてしまうことがあります。そのときでも燃焼を続けていますのであついと感じたときは運転を停止してください。
現在温度表示が 部屋の寒暖計と一致しない	現在温度の表示は、室温センサーで検知したときの目安です。 設置方法などにより温風の循環が影響し、寒暖計の温度とは一致しないことがあります。
運転中や消火直後に「ポコ」「パキ」 などの音がする	金属が熱により膨張・収縮するためです。 異常ではありません。
赤熱筒が均一に赤熱していない	赤熱筒の赤熱状態は燃焼している火力によって変化します。 火力が小さい時は赤熱しない部分もあります。

故障かなと思ったときに

次の表にもとづいて、お確かめください。

処置方法により処置してもよくなる場合は、お買いあげの販売店又は最寄りのサンポット支店・営業所にご相談ください。

原因	現象	運転ランプが点灯しない	点火しない	白い蒸気が出てとまる	炎が大きくなる	赤火で燃える	使用中室内がにおう	使用中立ち消えする	燃焼音大きい	処置
電源プラグがコンセントから抜けている		●								電源プラグをコンセントに確実に差し込む
停電した		●						●		停電復帰後再点火操作をする
油タンクに灯油がない			●					●		灯油を入れる
変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使った			●	●	●	●	●	●	●	油タンクを掃除し、きれいな灯油に入れ替える
給気フィルタが詰まっている			●	●		●	●	●		掃除する
天板側面にほこりが付いている			●					●		掃除する
換気が不足している				●		●	●	●		換気を十分にする
地震や強い衝撃があった								●		ストーブ周囲、油漏れを点検する
ストーブが傾いている			●					●		水平な場所に移動する
風のある所で使用している					●		●	●		風のある所での使用をさける
ほこりがたつ所で使用している						●	●	●		周囲を掃除する
油タンクに水が入った(水検知器が作動)			●	●	●	●	●	●	●	油タンクを掃除しきれいな灯油に入れ替える

11 部品交換のしかた

部品交換のときの注意

- 経年により消耗、劣化しやすい部品があります。
- 異常かなと思われましたら、お買いあげの販売店又は最寄りのサンポット支店・営業所にお問い合わせください。個人での不完全な修理は危険です。
- 修理資格者〔(一財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕が修理いたします。

11 部品交換のしかた つづき

■ 消耗・劣化しやすい部品

使用期間により、交換・メンテナンスが必要な部品	● フレームロッド ● 点火プラグ ● 赤熱筒 ● 放熱筒 ● 各種パッキン
環境により劣化しやすい部品	● 制御基板 ● 燃烧用送風機 ● 対流用送風機
変質灯油、不純灯油などの不良灯油の使用で劣化しやすい部品	● 電磁ポンプ ● 油タンク ● バーナー

12 保管 (長期間使用しない場合)

- ストープを保管する場合は、「**8** 日常の点検・手入れ (15 ~ 16 ページ)」の項を参照して、ストープの手入れをしてから保管してください。
- 傷んでいる箇所は、必ず修理をしてから保管してください。

■ 手順

- 1** ストープを消火し、ストープが充分冷えてから、電源プラグをコンセントから抜く
 - 濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。
- 2** 油タンク内の灯油、ごみ、水気を全部抜き取る
(「**8** 日常の点検・手入れ」の油タンクの水抜き参照)
 - 錆や穴あきの原因になります。
- 3** ストープの表面をよくふいて、汚れを取る
 - 固くしぼった濡れ雑巾や、薄めた中性洗剤で汚れを取り、乾いた布で水気をふき取ってください。
(シンナー、ベンジンなどではふかないでください)
- 4** 包装箱に入れて保管する
 - 湿気の少ない所々に保管してください。
 - 傾けたり、横にしないでください。抜けきらなかった灯油が漏れるおそれがあります。
 - 取扱説明書も必ず保管してください。

13 廃棄するとき

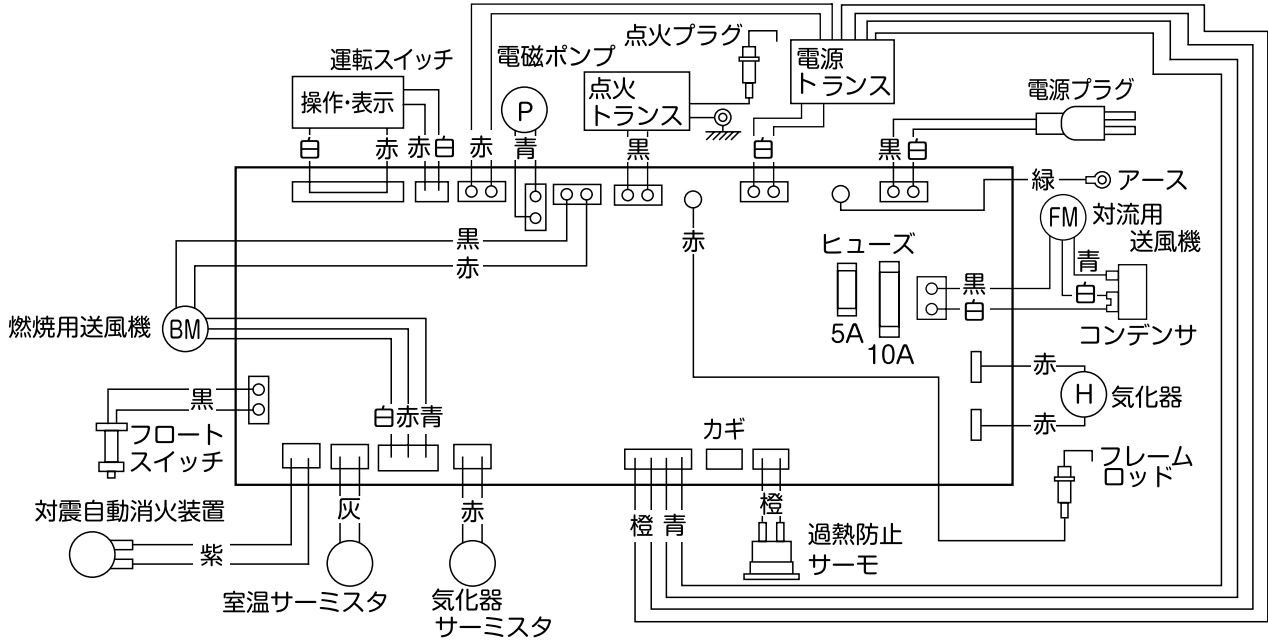
「**8** 日常の点検・手入れ」の油タンクの水抜きの項 (15 ページ) を参照して、油タンク内の灯油を抜き取ってから各自治体の指導に従って廃棄してください。

14 仕様

型式の呼び	KLR-1930		KLR-1230	
種類	回転霧化式、強制通気形、強制対流形			
点火方式	高電圧放電式			
使用燃料	灯油 (JIS1 号灯油)			
燃料消費量	最大	18.73kW (1.82L/h)	12.3kW (1.20L/h)	
	最小	5.86kW (0.57L/h)	4.63kW (0.45L/h)	
暖房出力	最大	18.73kW	12.3kW	
	最小	5.86kW	4.63kW	
油タンク容量	18L			
燃焼継続時間	最大	約 9.5 時間	約 14.4 時間	
外形寸法	高さ 698mm 幅 498mm 奥行き 585mm (置台を含む)		高さ 649mm 幅 498mm 奥行き 585mm (置台を含む)	
質量	20.5kg		20.0kg	
電源電圧及び周波数	100V 50 / 60Hz			
定格消費電力 (50 / 60Hz)	点火時	24/29W	点火時 23/26W	
	燃焼時	43/43W	燃焼時 37/39W	
	最大 (気化ヒーター ON 時)	860/860W	最大 (気化ヒーター ON 時) 860/860W	
電流ヒューズ	筒型 30mm 10A 1個、20mm 5A 1個			
安全装置	対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置、不完全燃焼防止装置、点火安全装置、過熱防止装置			
その他の装置	逆火検出装置、油切れ検知装置			
付属品	置台 (1)、取扱説明書 (1)			

14 仕様 つづき

配線図



保証書 (販売店様控)

型名	KLR-1930 / KLR-1230
製造番号	No. _____
保証期間	1年
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 _____
	お名前 _____
	電話 () _____
販売店	住所・店名 _____
	☎ () _____

販売店様へお願い

- 本保証書 (販売店様控) 及び次のページの保証書 (お客様控) の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、本保証書は切り取り線より切り取り保管し、次のページの保証書 (お客様控) は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- 本保証書に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

サンポット株式会社

〒025-0301 岩手県花巻市北湯口第2地割1番地26
お客様相談窓口 TEL 0198-37-1177

※太枠に記入の無い場合は無効となりますので、必ずお確かめください。
※販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

15 アフターサービス

保証について

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

修理を依頼するとき

- 「**6**安全装置」「**7**その他の装置」「**10**故障・異常の見分けかたと処置方法」に従って、お調べください。処置をしてもなおらないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店または最寄りのサンポット支店・営業所へご連絡ください。
- ご連絡いただきたい内容は次のとおりです。
 - ①品名・・・強制通気形開放式石油ストーブ
 - ②型式の呼び・・・(例) KLR-1930
 - ③お買い上げ年月日
 - ④故障の状況(できるだけ具体的に)
 - ⑤おなまえ、おところ、電話番号
- 修理に関しては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているとき、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
- 修理に出すとき、運搬するときは灯油を抜いてください。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障、事故につきましては保証いたしません。

補修用性能部品について

- 強制通気形開放式石油ストーブの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後10年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居される場合

- この石油ストーブは電源周波数50、60Hzとも同一仕様です。
- 電源周波数の異なる地域へ転居してもそのままお使いいただけますが、高地への転居、高地からの転居は再調整が必要ですので最寄りのサンポット支店・営業所までご相談ください。

お客様相談窓口

☎0198-37-1177 FAX.0198-37-1192
受付時間：平日午前9時から午後5時まで

修理・点検に関するお問い合わせは…

下記最寄りのサンポット支店・営業所・サンポットエンジニアリング株式会社へご連絡ください。

札幌支店	〒065-0042 札幌市東区本町2条10丁目1番25号	☎011-785-1211 FAX.011-782-8262
釧路営業所	〒085-0051 釧路市光陽町8番1号	☎0154-22-5821 FAX.0154-32-2289
帯広営業所	〒080-0023 帯広市西13条南11丁目9番地	☎0155-22-1335 FAX.0155-28-2266
旭川営業所	〒070-8002 旭川市神楽2条9丁目3番10号	☎0166-74-4585 FAX.0166-74-3973
函館営業所	〒041-0851 函館市本通4丁目17番25号	☎0138-53-2583 FAX.0138-33-2180
青森営業所	〒030-0131 青森市問屋町2丁目18番18号	☎017-738-4141 FAX.017-738-5354
秋田営業所	〒010-0914 秋田市保戸野千代田町15番17号	☎018-824-3421 FAX.018-824-3423
岩手営業所	〒025-0301 花巻市北湯口第二地割1番地26	☎0198-37-1138 FAX.0198-37-1188
仙台営業所	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4丁目2番40号	☎022-236-3444 FAX.022-238-9416
郡山営業所	〒963-8047 郡山市富田東4丁目118番地	☎024-953-8091 FAX.024-953-8092
首都圏営業所	〒352-0001 新座市東北2丁目24番3号	☎048-471-8420 FAX.048-470-1141
信越営業所	〒381-0031 長野市大字西尾張部1114番地5	☎026-252-6161 FAX.026-252-6162
富山営業所	〒939-8212 富山市掛尾町479番地4	☎076-420-2677 FAX.076-420-2238
大阪営業所	〒564-0053 吹田市江の木町18番27号	☎06-6337-3211 FAX.06-6337-3212

サンポットエンジニアリング株式会社

サービス部	〒065-0042 札幌市東区本町2条10丁目1番25号	☎011-785-1201 FAX.011-780-2338
青森サービスセンター	〒030-0131 青森市問屋町2丁目18番18号	☎017-738-4414 FAX.017-738-4415

サンポットホームページ <https://www.sunpot.co.jp/>

事業所名・住所・電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

32400077100D
2414

保証書 (お客様控)

型名	KLR-1930 / KLR-1230	
製造番号	No.	
保証期間	1年	
お買い上げ日	年 月 日	
お客様	ご住所	_____
	お名前	_____
	電話	()
販売店	住所・店名	_____
	☎	()

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 器具はきびしい品質管理のもとに生産しておりますが、使用される場所や条件、又は使用ひん度等で変化することは避けられません。従って未然にトラブルを防止し、未永く安心してご使用いただくために、2シーズンに1回程度シーズンはじめが保管する前のどちらかに(石油ふるがま、石油給湯機は1~2年に1回程度)、専門技術者による点検整備を依頼されることをおすすめします。点検整備・交換部品の費用はお客様にご負担いただきます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書裏面に記載の最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、給水の供給時等(石油ふるがま、石油給湯機)による故障及び損傷
 - (ニ) 指定以外の燃料、不純燃料の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 特殊使用(例えば、車両、船舶への搭載等)に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 本保証書の提示がない場合
 - (ト) 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 条例等に適合しない据付工事が行われたことによる故障及び損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書裏面記載の最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。
※お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。